

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 9 月 15 日(日)

試合時間：14：00～

CC：古後 宏和

U1：篠原 正則

U2：久原 裕未

日本経済大学	○ 80	9	—1st—	23	● 77	鹿屋体育大学
		24	—2nd—	13		
		20	—3rd—	7		
		13	—4th—	23		
		14	—O.T—	11		

第1クォーター

鹿体大#9長谷川の3Pシュートで試合が始まる。対する日経大も#44柴田がすぐに決め返す。その後も両チーム得点を取り合い、一進一退の攻防が続く。中盤、鹿体大#9長谷川が連続得点を沈め、流れは一気に鹿体大に。しかし、日経大も負けじと#99蔡がインサイドで奮起。更にメンバーを入れ替えて流れを変えようと試みる。終盤、鹿体大は#2櫻谷、#21池浦の連続得点で、日経大を一気に突き放す。対する日経大は#30小池を中心にシュートを狙うが、ゴールに嫌われ得点に繋げることができず、9-23と鹿体大の大幅リードで第1クォーターを終える。

第2クォーター

点差を縮めたい日経大は序盤、#99蔡のインサイドプレーを中心に攻め、着実に得点を重ねていく。対する鹿体大は#24宮崎のドライブで相手のミスを誘う。中盤、日経大は粘り強いディフェンスで鹿体大にシュートチャンスを与えず、流れを徐々に引き寄せる。鹿体大は堪らず残り6:04、タイムアウトを請求。しかし、その後も日経大の勢いは止まらず、立て続けに得点を重ね、#45山田のシュートで同点まで追いつく。終盤、鹿体大は#24宮崎が連続得点を決め、リードを広げていく。対する日経大は、#0堀内の3Pシュートを沈めるが、33-36と鹿体大がリードを保ったまま前半を終える。

第3クォーター

鹿体大ボールで後半がスタート。追いつきたい日経大は果敢にシュートを放つと、立て続けに得点を重ね、#44柴田のレイアップで遂に逆転に成功。しかし、鹿体大も#9長谷川のドライブで相手のファウルを誘い、フリースローを獲得。確実に得点を沈め、流れを渡さない。中盤、日経大#30小池の3Pシュート、#0堀内のシュートで鹿体大を一気に突き放す。流れを切るため、鹿体大は残り4:13、タイムアウトを請求。その後、#21池浦が確実にシュートを沈め、日経大に食らいつくが53-43と日経大リードに変わり、勝負は第4クォーターへ。

第4クォーター

序盤から、両チーム激しい攻防が続き得点を決め合う。点差を縮めたい鹿体大は、インサイドで勝負し、相手のミスを誘うと、フリースローで徐々に点差を詰めていく。対する日経大は#22浅井の3Pシュートなど、外角のシュートを狙う。中盤、鹿体大は#12川尻、#9長谷川が続けて得点を重ね流れは一気に鹿体大へ。タイムアウト後も鹿体大の勢いは止まらず、#23松井の連続得点で日経大との点差をじりじりと縮めていく。日経大も果敢にシュートを放つが、ゴールに嫌われ得点に繋げることが出来ない。終盤、なんとしても得点を入れたい日経大は#99蔡が強気のプレーを見せ遂に同点のシュートを決める。その後も両チームリードを譲らず、66-66と同点でオーバータイムへ突入する。

○・Ｔ

開始早々、鹿体大# 1 2 川尻が連続得点を沈め、一歩前に出る。しかし、日経大もリバウンドで# 4 4 柴田が奮起。その後# 4 5 山田、# 0 堀内が落ち着いて得点を決め、日経大が勝ち越す。両チーム一進一退の攻防が続く中、追いつきたい鹿体大は# 1 2 川尻がキャプテンの意地を見せ、またしてもシュートを沈める。流れを掴んだ鹿体大は# 2 1 池浦の連続得点で日経大を追い詰める。最後まで両チーム粘り強く戦ったが、鹿体大があと一歩追いつけず、80-77で日経大が勝利を取めた。